

長い間、ありがとう。

澤海保育園



澤海保育園正面



昭和50年頃の澤海保育園の運動会。地域の人たちも参加し、沢海の一大イベントだった。



保育園前の畑でさつまいもの収穫。つるの成長する様子をいつも観察していた。



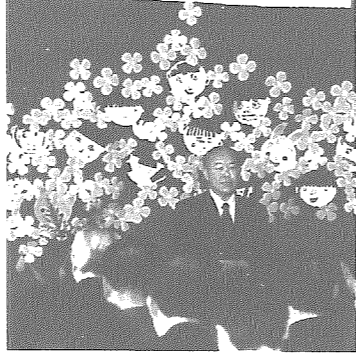
最後の卒園式で別れの歌を歌う卒園する子どもたち。

さて、長年親しまれてきました。なお、澤海保育園に通っていた年長の子どもたちは現在小学校1年生に、年中、年少、新しく園児になった子どもたちは木津の双葉保育園に通っています。また、澤海保育園の跡地は、地域の公園としての利用を計画しています。

平成12年3月28日、澤海保育園が多くなりに借しまれながら閉園しました。澤海保育園は、その前身として、春から秋まで子どもを預かる季節保育所として昭和17年に開設されました。農繁期には、家族が農作業で大変忙しくて子守ができないという地域の人たちの声から、当時の区長さんたちが中心となって、共同作業所（場所は元の農協支所）を借りて、農繁期に約50人の子どもの預かっていました。やがて、光園寺の庭先を借りて託児所として運営しました。

平成12年3月28日、澤海保育園が多くなりに借しまれながら閉園しました。平成12年3月28日、澤海保育園が多くなりに借しまれながら閉園しました。平成12年3月28日、澤海保育園が多くなりに借しまれながら閉園しました。

澤海保育園 閉園式



閉園を宣言する浅見町長



澤海保育園に在園した子どもたちとその保護者、保育士たちと全員そろって記念写真。



町民の生命と財産を守る消防団 今年23名が入団

災害から、町民の生命と財産を守る消防団の新しい戦力として、4月2日より23名が入団しました。

4月9日に小学校グラウンドで新入団員講習と町内各分団の幹部講習、亀田町消防署横越町分署員の指導による操法訓練が併せて行われました。

- 第一分団(横越) 新入団員は次のとおりです。中村 善浩、中村 政智
- 第二分団(沢海) 伊藤 達也、清野 武利、井浦 学、藤田 健一、石倉 新吾
- 第三分団(小杉) 渡辺 貴弘
- 第四分団(木津) 大橋 行雄、佐藤 豪、伝 光夫、栗山 和行
- 第五分団(二本木) 石塚 宗徳、渡辺 篤、笠松 邦幸、井関 信正、田中 誠
- 第六分団(藤山・駒込) 中島 誠、小宮山 功、田村 敦、岩田 健男
- 第七分団(小杉) 鈴木 雄一、稲村 義博、連藤 隆行、鈴木美津男、涌井 隆行、中川 広、涌井 俊昭、連藤 忍
- 第八分団(木津) 宇野 忠典、佐藤 政行、大島 茂、斉藤 修、山田 正行、駒沢 俊一、五十嵐 剛
- 第九分団(二本木) 佐藤 忠芳、田代 智也、井越 政司、白倉 毅彦、池田 直紀、井越 正夫
- 第十分団(藤山・駒込) 阿部 由幸、和澄 正幸、佐藤 克己

平成12年度区長

区長さんは、地域の取りまとめや、住民と町とのパイプ役として重要な役割を担っていただいています。平成12年度の各地区の区長さんは次のとおりです。

地区名	区長
横越上	中村 昭夫
横越中第1区	石井 八坂
横越中第2区	石田 武史
横越中第3区	熊倉 秀雄
横越下	高橋 常三
川根谷内(旭区)	佐久間 正夫
川根谷内(緑区)	石塚 正夫
川根谷内(栄区)	佐久間 利夫
川根谷内(茜区)	三富 一弥
沢海上	伊藤 榮藏
沢海中	田中 隆
沢海下	嶋原 源一
焼山	杉本 治一郎
木津上	宇野 勝久
木津中	坪谷 孝司
木津下	金子 甚一
二本木上	小柳 芳太郎
二本木中	谷井 篤光
二本木下	原 申一
小杉上	青木 清
小杉中	遠藤 三郎
小杉下	羽賀 清治
藤山	岩田 岩博
うぐいすタウン1	井上 博行
駒込	阿部 兵一

地価公示が 閲覧できます

地価公示は、毎年1月1日現在における「標準地」について、1㎡当たりの正常価格を公示することに、一般の土地取引の際の目安とされています。地価公示の関係図書は、建設企業課で閲覧できます。

「ご厚志に感謝」

町の福祉に役立ててほしいと、前横越町社会福祉協議会会長 岩田大様より10万円、大町要作様(沢海中)より香典返しとして10万円の寄付がありました。大変ありがとうございます。